

戦略作物生産拡大支援事業のうち米粉製造革新技術等開発支援事業(米粉用米生産・利用体制確立モデル事業、米粉製造機器等導入事業)事業評価票

北陸農政局生産部生産振興課

事業名	事業実施主体	事業内容	事業費(円)		A : 計画以上の成果が見られる
新たな米粉製品の開発	越前町米粉用米生産利用推進協議会	麺用米粉向けの原料米(高アミロース)を安定的かつ効率的に供給していくために必要な栽培方法の確立に向けた生産実証、当該原料玄米による米粉の利用促進 【取組内容の詳細】 ・高アミロース米の栽培マニュアル化に向けて栽培技術専門家による勉強会、栽培マニュアル作成検討会の開催 ・製麺米粉の利用促進に取り組むため、米粉製造業者とエンドユーザーとの意見交換を実施 ・用途別基準に定められたアミロース含有規格をクリアするため、コンタミしないように施設改良を実施	平成30年度 15,195,965円 (うち国費) 7,646,190円	総合評価	Ⓐ : 計画通りの成果が見られる
					Ⓒ : 計画通りの成果がみられない
				総合所見	当初目標年度の令和4年度における作付面積及び生産数量の目標は達成済。 令和4年度で目標未達成であった米粉生産数量は、令和5年度において18.0トンを生産し、成果目標は達成したと認められる。 (なお、昨年度は、事業評価の対象となっていた令和3年産米粉用米の生産量が、豪雨の影響により大幅に減収したこと、米粉生産量も減少し、目標未達成となっていた。)
評価観点ごとの所見					○事業実施期間 平成30年度(平成30年5月10日～平成31年3月31日)
a成果目標が達成されているか					
当初目標年度の令和4年度において作付面積及び生産数量は成果目標を達成したものの、米粉生産数量は6.8トンと成果目標を達成することができなかったが、改善計画目標年の令和5年度において18.0トンを生産し、成果目標を達成。					○成果目標 作付面積: 2.5ha 生産数量: 17.3トン 米粉生産数量: 14.1トン
b計画に即した取組が行われたか					
麺用米粉に適した高アミロース米の品種の生産するため、計画どおりに当該地域型の栽培マニュアル化に向けて、栽培履歴・データの収集、協議会構成員による検討会、栽培技術等の専門家による勉強会、栽培マニュアル作成検討会を開催し、栽培暦を作成するとともに、製麺米粉の利用促進のため、協議会構成員である実需者が行うエンドユーザーとの意見交換を行ったが、想定していたアミロース含量にならなかったため、他の用途での利用となった。					○事業成果 作付面積: 4.9ha (令和4年度) 生産数量: 25.0トン(令和4年度) 米粉生産数量: 18.0トン(令和5年度実績: 再評価)
c予算の執行が適正に行われたか。また予算に見合った成果が出たか					
米粉生産に用いる原料米は、品質を安定させるため生産年の翌年に持ち越して使用している。令和3年産では8月豪雨の影響により、いもち病の発生で大幅に収量が減収したため、原料不足により米粉生産量の目標を下回ったが、令和4年産において作付面積・生産数量・米粉生産数量の3項目とも目標を達成し、適正な事業遂行と予算に見合った成果を確認。					○目標未達成の米粉生産数量は、当初目標の14.1トン を成果目標とする

<記載要領>
1 評価観点ごとの所見欄には、a、b、cそれぞれの観点からの所見を記載する。
2 総合評価欄には、評価観点ごとの所見欄を踏まえて、A、B又はCのいずれかに○を付ける。
3 総合所見欄には取組全体について総合的な所見を記載する。
4 事業内容欄は、事業実施状況報告書に準ずる。
5 事業費は決算額を記入する。